

# 第11回 日本語 スピーチコンテスト



平成 28 年 2 月 21 日 (日) イーグレ  
ひめじ 3 階あいめっせホールにて、第 11  
回日本語スピーチコンテストを開催し  
ました。昨年度まで姫路市主催のひめじ  
国際交流スプリングフェスティバルと  
の共催でしたが、今年度より財団単独主  
催での開催となりました。



今回のコンテストでは、5 か国 14 名の出場者が「わたしの好きなもの・人・こと・場所」をテーマに  
みな個性豊かなスピーチを発表しました。見事金賞に輝いたのは、オーストラリア出身で語学講師のテ  
ィム モーコムさんです。コーヒーマシンを通じて、思春期のころから疎遠になっていたお兄さんとの絆  
を取り戻すストーリーを流暢な関西弁と身振り手振りで披露しました。ベトナム出身のグエン ティー  
トゥさんはベトナムのお母さんや、日本でお母さんのように慕っている方への感謝の気持ちを、中国出  
身の譚梓堅さんは日ごろ感じている姫路の素晴らしさを発表し、それぞれ銀賞、銅賞に選ばれました。  
また、ベトナム出身のレー ヴァン ロンさんは夫婦円満の秘訣で観客の笑いを誘い、オーディエンス賞  
を受賞しました。母国の美しい民族衣装や色鮮やかな和服を着た発表者もおり、目も楽しませてくれま  
した。



審査結果を待つ間には、日本語学習者有志 3 組  
が舞台発表を行いました。1 組目はインドネシア  
出身ヘリさん、アルフィンさんによる歌、次にネ  
パール出身ポクレル トウルサさんによる踊りで  
す。そして最後は財団が主催する日本語学習支援  
事業「日本語ひろば」の学習者とボランティアの  
有志が、日本語スピーチコンテストのオリジナル  
テーマソング「世界中、手をつないで」の作詞・

作曲者である圭さんとともにテーマソングを大合唱しました。

会場は立ち見が出るほどの大盛況で、発表者の家族や友人はもちろん、一般の方も多くお越しくださり、国際交流や多文化共生への関心の高まりがうかがえました。事後のアンケートからは、「発表者の一生懸命な姿に感動した」「自分も頑張ろうという気持ちになった」など、前向きなコメントやメッセージが多く寄せられました。

日本語スピーチコンテストは、在住外国人に日本語学習の成果を発表する場を、また、市民の皆さんには多文化共生について考えるきっかけとなる場を提供するため、年に一度この時期に開催しています。発表者の募集は11月ごろ、観覧募集は年明けごろから始まります。興味のある方はぜひ財団のウェブページをご覧ください！舞台発表者も同時募集しています。一芸をお持ちの方はお問い合わせください。

